従業員各位

令和6年6月吉日

株式会社

代表取締役

**ChatGPT・Copilot活用についての留意事項**

日頃は業務に精励いただき、誠にご苦労様です。

さて生成AIの進歩は目覚ましいものがあり、ChatGPT（Copilotを含む、以下同じ）は一般的な質問応答、対話、文章生成など、多岐にわたる自然言語処理タスクに対応しています。ユーザーの自由な質問や指示に対し、適切な応答を生成するものです。

今後はこれを有効に活用することが業務の効率化やクオリティを高めるうえで重要なこととなります。

ChatGPTは、大量のデータを学習することで幅広い質問や要望に回答できる仕組みです。そのため、できるだけ詳しい情報を与えることで、欲しい回答により近づけることができます。但しChatGPTは文章の意味を理解しているわけではなく、確率により、次の単語を生成するという仕組みになっています。そのような仕組みの影響で、AIが事実とは異なる情報を提供することもあることから、使用する際はその点に注意する必要があります。

|  |
| --- |
| １．質問の仕方と、前提条件が重要 |
| ２．質問を繰り返すと、今までの経緯と関係のない回答がかえってくる場合がある |
| ３．機密情報は入力しない（オプトアウトする） |
| ４．正しい回答が返ってくるとは限らない |

ChatGPTに質問をするときのポイントは以下の通りです。

使いこなすために重要なことですので、以下順に解説します。

**１．質問の仕方と、前提条件が重要**

ChatGPTを有効に利用するには、質問と前提条件が極めて重要です。命令が曖昧だと曖昧にしか答えられません。どのような目的でどのような回答がほしいのかを明確に質問する必要があります。つまり、プロンプトの作成が重要です（ChatGPTへの指示をプロンプトという）。

もう少し具体的に言います。

●**立場**：ChatGPTがどのような立場で回答するかを設定する

(例) 「あなたは優秀な人事コンサルタントです」

●**要望**：何について回答や文章を作成してほしいか

(例) 「管理職を評価するための評価要素を作成してください」

●**前提条件**：どのような前提条件で回答するか

(例) 「従業員20名規模の創業してまだ10年の大阪の会社です」

●**出力形式**：どのような出力形式で回答して欲しいのか

(例) 「評価項目名と評価内容を表でまとめてください」「200文字までで回答してください」

「中校生にもわかるように簡単に回答してください。」

●**事例**：回答のイメージをつけるために事例を入力

(例) 「事例：『皆が嫌がる仕事ほど率先して行います』」

**２．質問を繰り返すと、今までの経緯と関係のない回答がかえってくる場合がある**

どれくらいまで遡って会話の内容を覚えているかは明確ではありません。そのため、今までのチャット履歴の中から該当する部分を抜粋し、質問と一緒に貼り付けるようにしましょう。

**３．機密情報は入力しない（オプトアウトする）**

質問した内容は、ChatGPT等の開発者に見られてしまったり、今後の学習データとして使われたりする可能性があるので、機密情報や個人情報の入力はしないようにしましょう。

**４．正しい回答が返ってくるとは限らない**

学習データはWebサイトのテキストデータのため、一定の偏りがあったり、間違った答えを学習している可能性があります。間違いに気づく人間のリテラシーも重要になります。

ChatGPTを使いこなせるかによって、仕事に差が出る時代がやって来ます。常に最新の情報にアンテナを張り、ChatGPTを賢く使いこなして行きましょう。

以上